

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成 2 8 年度相模原市地域保健医療審議会 保健医療計画推進部会		
事務局 (担当課)		健康福祉局保健所地域保健課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 4 1 (直通)		
開催日時		平成 2 8 年 1 1 月 1 日 (火) 午後 7 時 0 0 分から午後 8 時 1 0 分まで		
開催場所		総合保健医療センター A 館 3 階 集団指導室		
出席者	委員	8 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	1 5 人 (保健所長 他 1 4 人)		
公開の可否		可 不可 一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 あいさつ 2 委員紹介 3 部会長の選出について 4 議題等 ( 1 ) 相模原市保健医療計画及び当部会の概要について ( 2 ) 相模原市保健医療計画に係る主な事業の進捗状況について ( 3 ) 今後のスケジュールについて ( 4 ) 次期相模原市保健医療計画に係る市民生活実態調査について て 5 その他		

## 審 議 経 過

部会の冒頭、出席委員の人数が定足数に達していることを確認し、相模原市保健医療計画の概要及び推進体制について説明した後、議題について審議した。

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 3 部会長の選出

大山委員が部会長に選出され、あいさつをいただいた。

(以下、大山部会長により議事を進行)

### 4 議題

#### (1) 相模原市保健医療計画及び当部会の概要について

現行計画書及び資料1により、計画の進行管理及び次期計画の検討体制について説明。

特に、質疑なし。

#### (2) 相模原市保健医療計画に係る主な事業の進捗状況について

資料2により、主な事業の進捗状況について説明。

15頁のNo60、新規事業「要医療ケア障害児在宅支援事業」について、市医師会で小児在宅医療を研究しているところだが、記載されている「小児在宅支援センター」という施設について確認したい。

本日、所管の障害政策課が不在のため事務局で回答します。在宅の支援として、北里大学東病院の小児在宅支援センターのメディカルショートステイ病床において、支援等を実施している事業と伺っています。

北里大学東病院が委託先となっていると推察するが、市の業務を受託する中で、看護師の教育や病診連携に係ることなど全て含めて一連の内容をこのセンターで実施しているという理解で良いか。

障害政策課に確認しまして、後日改めて回答させていただきたいと存じます。

今後、国の施策として小児の在宅医療が各地区に導入されていく。その中で、市医師会では先駆けて病診連携についてや診療所で果たす役割、あるいはショートステイの在り方などを検討しているところであり、本市の小

児在宅医療の在り方に結びついていくものであるので、回答についてお願いする。

20 頁の「災害時保健師等初動対応マニュアル」についてですが、毎年のように大きな災害が発生し、保健師等の職員が被災地の方に赴いて活躍されており、今年 4 月に発生した熊本地震においても現地に職員が派遣されている。資料では、実務に近いマニュアルの見直しとあるが、どのような反省点などがあり、どのような方向でマニュアルの見直しを実施していくのか見解を伺う。

現在のマニュアルでは、現地対策班単位で保健師を配置する体制としているが、各避難所の保健活動をコーディネートする役割など、より具体的かつ実践的な動きについてマニュアルに反映させていきたいと考えています。

熊本への派遣を通じていくつも課題が確認されました。例えば、本市では保健師職のみの派遣を基本としていましたが、他自治体の派遣チームでは、移動時の車両の運転を始め、保健師の活動をサポートするために事務職等が同行しており、本市でも保健師が保健活動に専念できる体制を整備する必要があると強く感じたところです。また、DMAT や DPAT など様々な派遣チーム等が連携して効果的に被災者の健康管理に取り組む体制をいかに整備するかといったことがあげられます。このような課題について、熊本での経験等を踏まえてマニュアルに反映させていきたいと考えています。

### ( 3 ) 今後のスケジュールについて

この計画にはいくつかの個別計画があるが、例えば「歯と口腔の健康づくり推進計画」なども、同様なスケジュールで改訂作業が進められるのか。歯と口腔の健康づくり推進計画は、計画の期間が平成 29 年までとなっており、保健医療計画と同様に、次期計画期間を平成 30～34 年度の 5 年間となるよう改訂作業を進める予定です。

### ( 4 ) 次期相模原市保健医療計画に係る市民生活実態調査について

この保健医療計画は、これまでに何度か改訂を実施しているのか、また策

定に当たり、その都度このような調査を実施しているのか。

次期計画が、第3次の計画となりますが、これまでも計画策定に当たって都度この市民生活実態調査を実施しています。

これまで、同様な項目について調査を実施しているのであれば、今回の調査結果のみでなく、同一項目についての経年的な前回・前々回からの変化や傾向等を踏まえることが、今後の施策を検討する上で重要であると考えるので、そのような工夫がされるよう検討をお願いしたい。

調査自体の委託契約が済んでいるので、今回の調査報告書に反映できるかは調整を要しますが、今回調査する項目のいくつかについては、計画書の89頁に記載のある計画の指標として取り上げており、この指標の項目については前回等と比較をして、5年後に向けて目標設定に反映できると考えています。

指標を立てるうえで、これまでの取組状況等を踏まえることが非常に重要なので、調査報告書への反映は難しくとも、この会議の資料づくりなどにおいて、例えば顕著な傾向が表れているものなどを提示していただくと、計画のベースとなる基本認識が築けると考えるので、よろしく願いたい。

調査の結果報告の際には、そのような資料も提示させていただきたいと思えます。

これまでに、同じ調査を繰り返しているもので、経年的な比較はとれると思われる。一方、新規の設問については過去には無いが、こういったものの以前との比較はどう考えるか。

例えば、食育に係る設問をいくつか新設していますが、これは、国がこれまでに実施した項目に習っている。国のこれまでの特性と、本市の特性を比較できると考えています。また、全ての新しい設問について過去との比較は難しいが、現状としての意識を調査したいと考え設定させていただいています。

調査の対象者について、津久井地域との合併などがあったが、地域性などについてはどのように考えているか。

今回の調査対象についてですが、一般市民調査では、まちづくりセンター単位の人口比率により一定数が抽出されるように実施しました。小・中学校については、各区で4校ずつ抽出し、できるだけ偏りが無いように配慮

しました。また、区ごとの結果が出るかどうかは、今後検討させていただきます。

区ごとの結果などがあると、今後、区ごとの施策を検討するにあたって参考になると考える。

## 5 その他

部会長から、議題（２）について、資料が膨大であることと会議の時間が限られていることから、この場では質疑等に至らなかった部分もあると思われるので、改めて資料等を御確認いただき、意見や質疑等あれば事務局に後日連絡していただくこととなった。

最後に、部会長から事務局に対し、本日の部会での各委員からの意見や要望を十分に踏まえ今後の事業を進めるよう要望され、閉会。

以 上

平成 28 年度 相模原市地域保健医療審議会保健医療計画推進部会

出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠
1	大山 宜秀	一般社団法人相模原市医師会	部会長	出席
2	中野 重徳	公益社団法人 相模原市病院協会		欠席
3	井上 俊彦	公益社団法人相模原市歯科医師会		出席
4	大岡 元	公益社団法人相模原市薬剤師会		出席
5	佐藤 美樹	公益社団法人神奈川県看護協会 相模原支部		出席
6	森 逸雄	相模原市自治会連合会		出席
7	高部 博	社会福祉法人相模原市社会福祉 協議会		出席
8	永富 多美子	相模原市健康づくり普及員連絡会		欠席
9	湯田 里子	相模原市食生活改善推進団体 わかな会		出席
10	勝村 尚子	特定非営利活動法人神奈川県歯科衛生 士会相模原支部		出席